

えのもとだより



あけましておめでとうございます。地域の皆様には健やかな新春をお迎えるの事とお慶び申し上げます。

昨年元旦早々に石川県能登地方を震源とする震度7の地震が発生しました。1年が経ちましたが、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。今年は平穏な年になるようお祈りいたします。

さて昨年を振り返ってみますと、

●4月

❖ 毎週水曜日の午前診療担当医を名誉院長から佐々木先生に交代

佐々木先生は呼吸器が専門で以前から第4土曜日の午前診療と午後の睡眠時無呼吸外来も担当して頂いております。肺炎や肺がん・慢性閉塞性肺疾患(COPD)、気管支喘息や睡眠時無呼吸症候群、花粉症など気になる方は是非受診してみてください。

❖ 大腸CT検査技術施設の認定(写真)を受ける

これは日本消化器がん検診学会による認定制度で、「大腸CT検査」を実施する上で必要な知識と技術を持った技師が常勤し、適切な設備を備えている施設に認められる制度で、県内では当院が3番目の認定施設となりました。

●8月 第1土曜日の夜診療を終了しました

毎週土曜日の午前と第2～5土曜日の夜は、従来通り診療しています。

●10月 名誉院長が急性肺炎のため外来休診中

肺炎のため入院しましたが、現在自宅療養中です。診察をお待ちの患者様には大変ご迷惑をおかけし申し訳ございません。

●12月

❖ 日本消化器病学会専門医を取得(写真)

取得が少し遅くなりましたが、引き続き消化器疾患を中心に診療し、特に胃・大腸内視鏡検査は今後も積極的に行ってまいります。今年の胃内視鏡検査は730件以上となり、また大腸内視鏡検査は昨年春から検査枠を増やし、約670件といずれも増加しております。

❖ 「女医榎本住記念碑」(写真) 当院の西側を現在リニューアル中

患者第一主義の根源となるこの記念碑をより多くの方々に見て頂けるよう整備中です。1月中旬に完成予定ですので是非一度お立ち寄りください。

榎本医院は患者第一主義を貫き、皆様の健康をお守りし安心して暮らしていけるよう、スタッフが丸となって日々努力していく所存です。年頭にあたり本年も皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

院長 榎本 泰三

日本消化器がん検診学会
大腸CT検査技術施設認定証



日本消化器病学会
消化器専門医証



榎本住 紀念碑

女医 榎本住 紀念碑

国主(国を医する名手の意で、名医のこと。または医師の敬称) 榎本玄丈翁の長女の阿住は、二十四歳にして怙む所を了くし、後に又、良人を喪いて、二孤(鬼)有り。善く教え、之れを育む。己れは亦貞節を守り、他岐(よこ道)には感わず。善く家を継ぎて、学びて刻勵を懈らず。性は闊達敏悟にして、庭内は静肅(清潔)にす。是れに於いて四方に于き聞こえ達し令む。芳言は街区に満ち、診察を請う者は続々と絶えず。往きて病家に詣るも、必ず暮に移り出す。今茲に輪七十八にして、毫も衰態を視せず。平生の行事に皆刮目して、古の所謂「女中の丈夫なる者」は、夫れなるは其れ斯の人に在りや(無しや)。其れ斯の人に在るなり。系りを以て銘して曰く、華ぎや仲やは、妙訣(たをやかなる奥の手)にして神の如くなり。痼疾(なが病み)や膏肓(治療しがたい難病、若しくは救済しがたい性難をいう)は、尽して皆回春となす。世人の或いは言いは、彼の杏林(「神仙伝」に董奉が病氣を治しても報酬を受け取らず、治った者に杏を記念として植えさせたので、数年の後、立派な林をなしたという故事に基づき、医者の特称とする。または賢者・仲間の称)に入りて、一つの経は老手(老練な手並み)にして縦い死しても甘心(満足)なりと

明治二十六年二月吉辰(吉日)

郡山儒隱 山下金吾撰
水谷克庸書



※ インフルエンザが大流行しています。下図のようなことに留意しお過ごしください。

インフルエンザの予防

- マスクの着用**
 - 人混みに出るときや せきが出る時など
- 室内の湿度・温度**
 - 湿度 50~70% 程度を保つ
 - 温度 20~25℃ 程度を保つ
- 生活習慣**
 - 適度な運動
 - 睡眠はしっかりと
 - 食事はバランスよく

(NHK 健康chより)

新型コロナの患者様は再び増加傾向を示し、またインフルエンザが大流行しており、軽い風邪症状でも院外の駐車場スペースでの診察対応としておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。